



2022年3月期
決算説明会資料

2022年5月25日

三愛オブリ株式会社

(東証プライム市場 8097)

-
1. 当社グループについて
 2. 2022年3月期 連結決算概要
 3. 中期経営計画進捗状況
 4. 2023年3月期 連結業績予想

1. 当社グループについて

A thick, curved orange line that starts from the bottom left and arcs across the page towards the right, ending near the top right.

当社グループは「三愛精神」を経営理念、「Obbli」をコーポレートブランドに掲げ、エネルギーとサービスの提供を通じ、人々の生活と産業を支える役割を担ってきた

経営理念:三愛精神

人を愛し
国を愛し
勤めを愛す

- ふれあうすべての人々の人格を尊重し、分け隔てのない人間関係を築きます
- 企業活動を通して、より良い社会の発展に貢献します
- 仕事に誇りを持ち、自律的、創造的に行動します

コーポレートブランド:Obbli



- 顧客、地域、社会と共に、良い関係性を結ぶ

《当社グループの長期ビジョン》

低炭素・循環型社会に対応した事業ポートフォリオへと進化を遂げるとともに、これからも総合的なソリューションを提供し、人々の生活と産業を支えるパートナーとなる



本年**70周年**を迎えるにあたり、経営理念「三愛精神」とコーポレートブランド「Obbli」のもと、新たな事業領域へ挑戦する姿勢を示すため、2022年4月に商号を変更しました



三愛オブリ株式会社

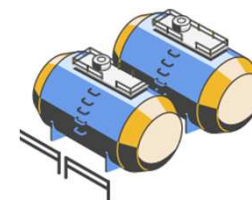
石油製品販売 ／受発注業

キグナス石油(株)及びその子会社(2社)
三愛リテールサービス(株)
三愛オブリ東日本(株)
三愛オブリ北陸(株)
三愛オブリカスタマーサービス(株)



LPガス販売業

三愛オブリガス東日本(株)
三愛オブリガス播州(株)
三愛オブリガス中国(株)
三愛オブリガス九州(株)
三愛オブリガス三神(株)
三愛オブリガスサービス中国(株)
三愛オブリガスサービス九州(株)
三愛オブリLPG輸送(株)



化学製品製造 ・販売業

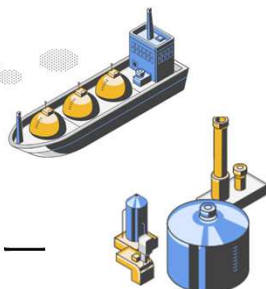
三愛理研(株)



連結子会社：計 22社

都市ガス業/ 建設工事業/ 保険代理業

佐賀ガス(株)
三愛オブリテック(株)
(株)ティー・アンド・ピー



航空燃料取扱業

三愛アビエーションサービス(株)
神戸空港給油施設(株)
(株)KAFCO



2. 2022年3月期 連結決算概要

業績ハイライト ～損益概要～

《純利益過去最高》



原油価格の高騰等を受けて売上高は伸長

各事業戦略の徹底による適正な販売価格確保と航空需要の回復等により利益面は好調に推移

(単位：億円)

	2021年3月期	2022年3月期	前期比
売上高	4,738	5,987	126.3%
売上総利益	478	525	109.9%
販管費	392	405	103.3%
営業利益	85	120	140.4%
営業外収益	18	13	74.5%
営業外費用	4	3	73.9%
経常利益	100	131	131.2%
特別利益	15	2	13.9%
特別損失	6	5	80.7%
税金等調整前純利益	109	128	117.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	70	83	117.8%

業績ハイライト ～業績予想比～



(単位：億円)

	業績予想	2022年3月期 実績	予想比	特記事項
売上高	6,300 (期首予想4,700)	5,987	95.0%	原油価格高騰、為替の円安を受けて2022年1月14日に業績予想修正
営業利益	100	120	120.6%	・石油・ガス・化学は堅調に推移。航空においても前年からの回復が見られた。 ・在庫評価益
経常利益	105	131	124.9%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	75	83	110.7%	

連結貸借対照表

21年3月末 総資産 **1,872**億円

流動資産 811	流動負債 610 固定負債 197 (有利子負債 101)
有形固定資産 515	純資産 1,064 自己資本比率 54.2%
無形固定資産 41	
投資その他の資産 504	



22年3月末 総資産 **1,978**億円

流動資産 936	流動負債 660 固定負債 194 (有利子負債 78)
有形固定資産 517	純資産 1,123 自己資本比率 54.2%
無形固定資産 48	
投資その他の資産 475	

< 主な変動要因 >

(単位：億円)

流動資産・流動負債の増加は主に売上債権及び仕入債務で、原油価格上昇によるもの

有形固定資産：国内7空港給油施設取得、天然ガス導管延伸、油槽所保全他

投資その他の資産：投資有価証券売却他

連結キャッシュ・フロー計算書



(単位：億円)

	2021年3月期	2022年3月期
営業活動によるCF	90	105
投資活動によるCF	▲44	▲32
財務活動によるCF	▲54	▲57
現金及び現金同等物の増減額	▲8	15
現金及び現金同等物の期首残高	373	364
現金及び現金同等物の期末残高	364	<u>379</u>

< 主要内容 (2022年3月期) >

営業CF

税金等調整前当期純利益	+128億円
減価償却費/のれん償却額	+54億円
売上債権増加/仕入債務増加	-37億円
棚卸資産増加	-17億円
法人税等支払	-30億円

投資CF

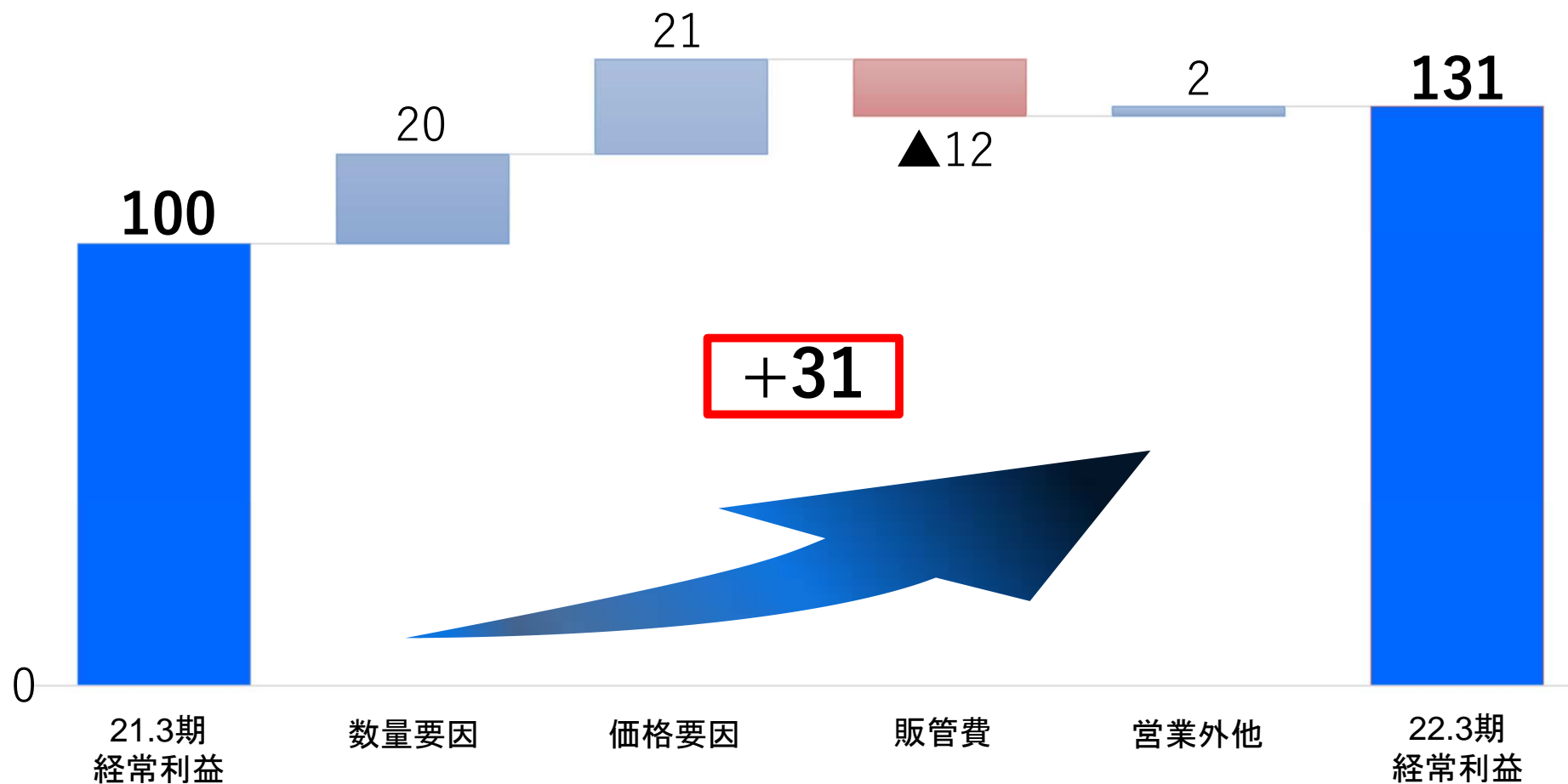
設備投資	-43億円
投資有価証券・有形固定資産売却	+26億円
無形固定資産取得(ソフトウェア・のれん)	-15億円

財務CF

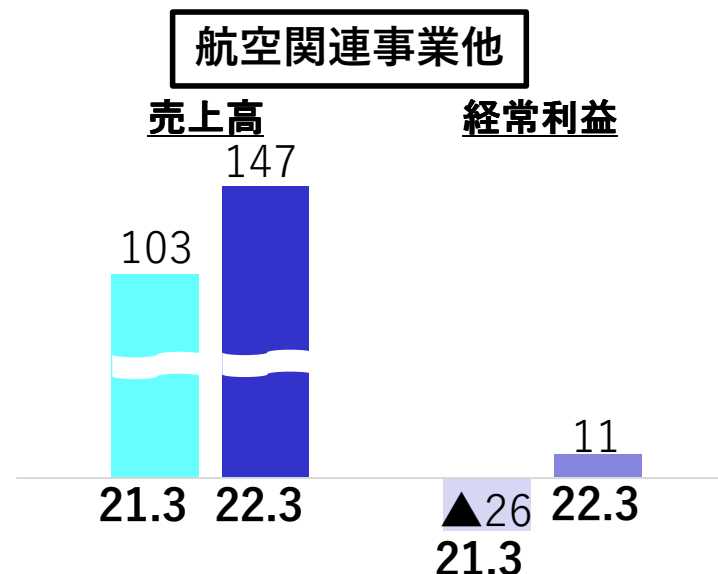
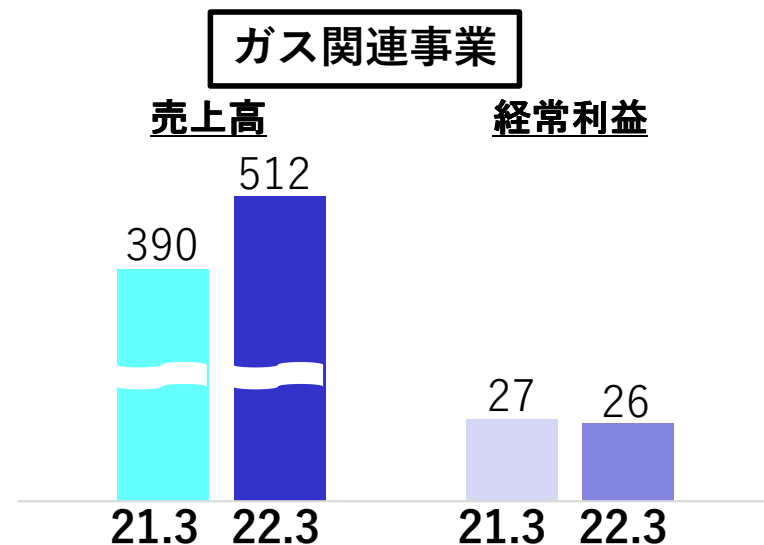
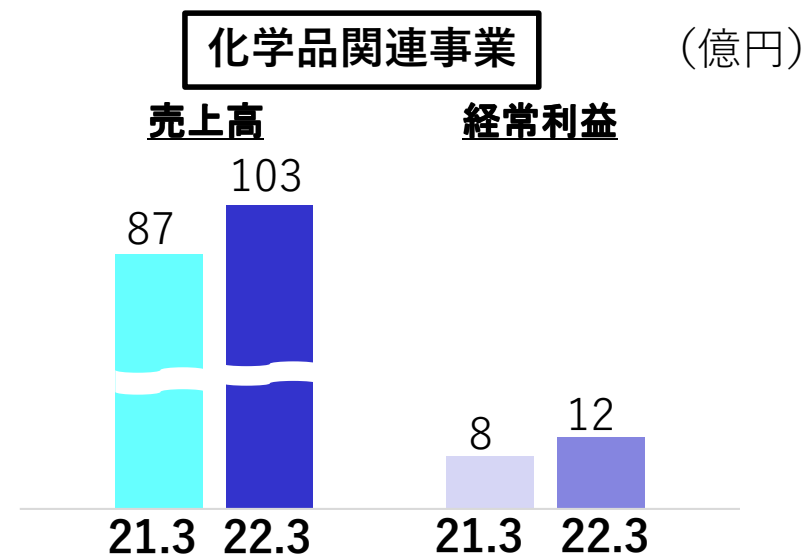
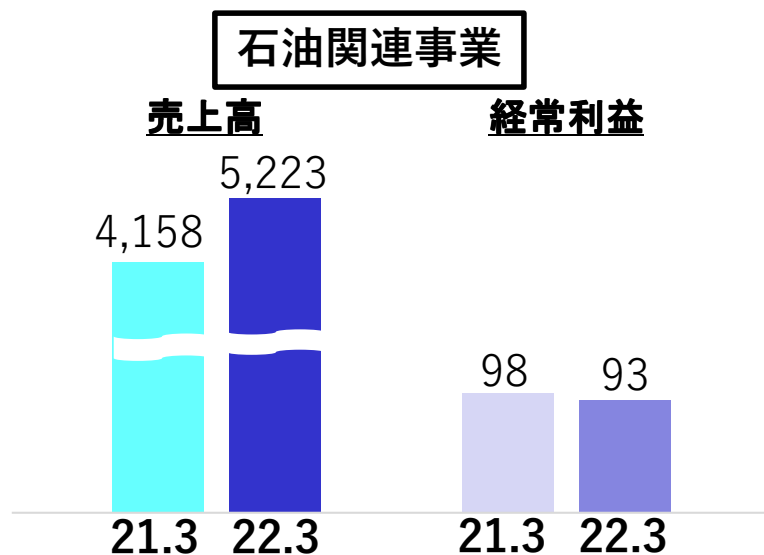
配当金支払額	-21億円
長期借入金返済額	-31億円
自己株式取得	-3億円

連結經常利益 前年比増減分析

(億円)



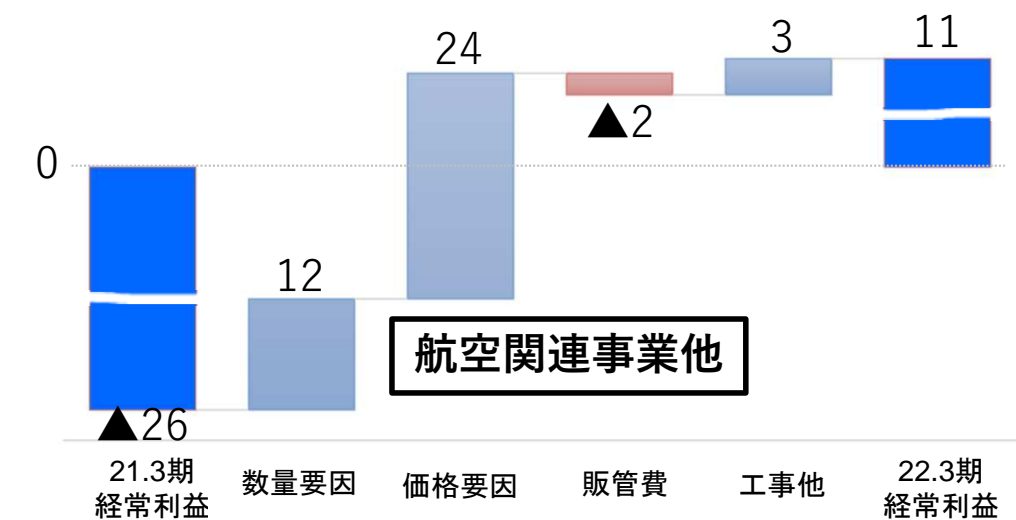
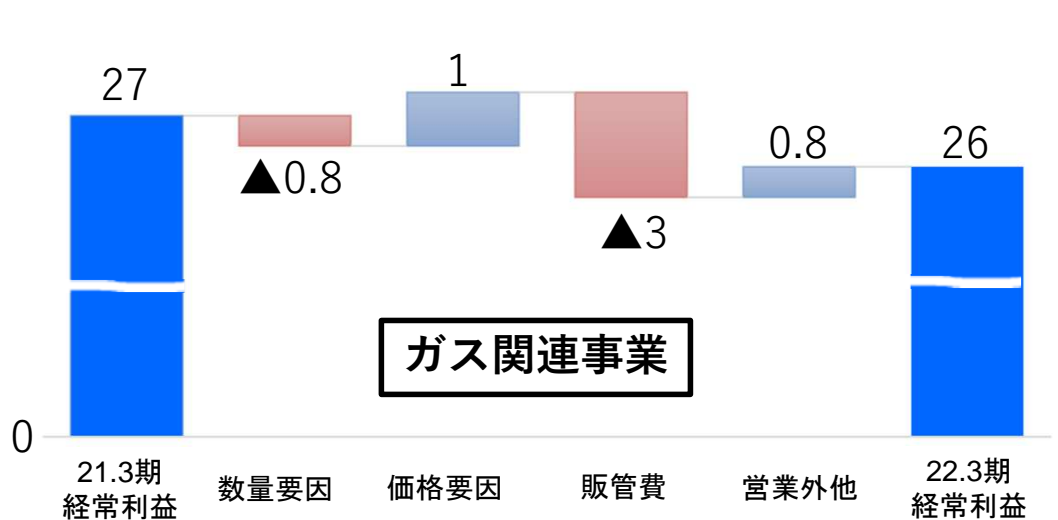
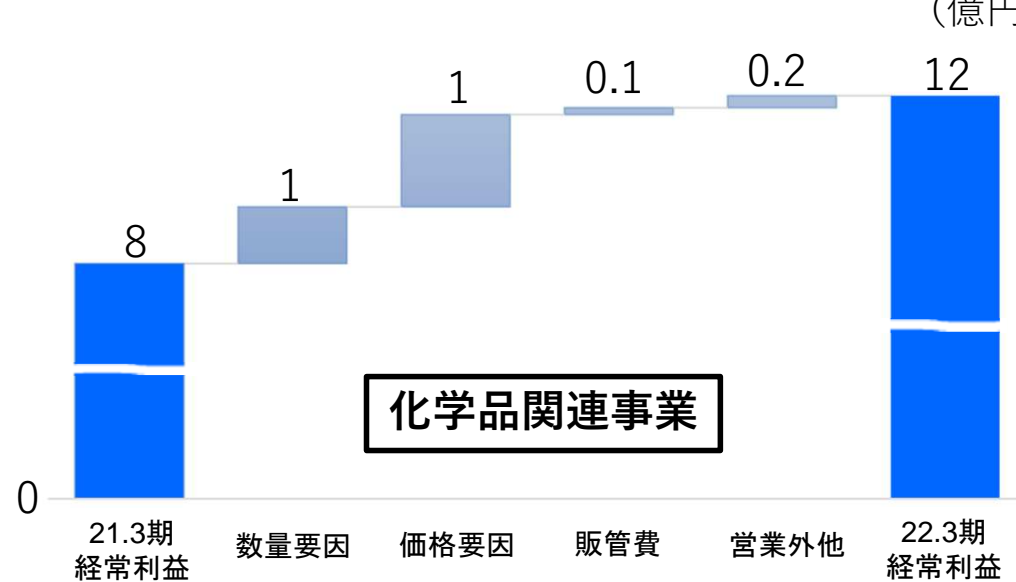
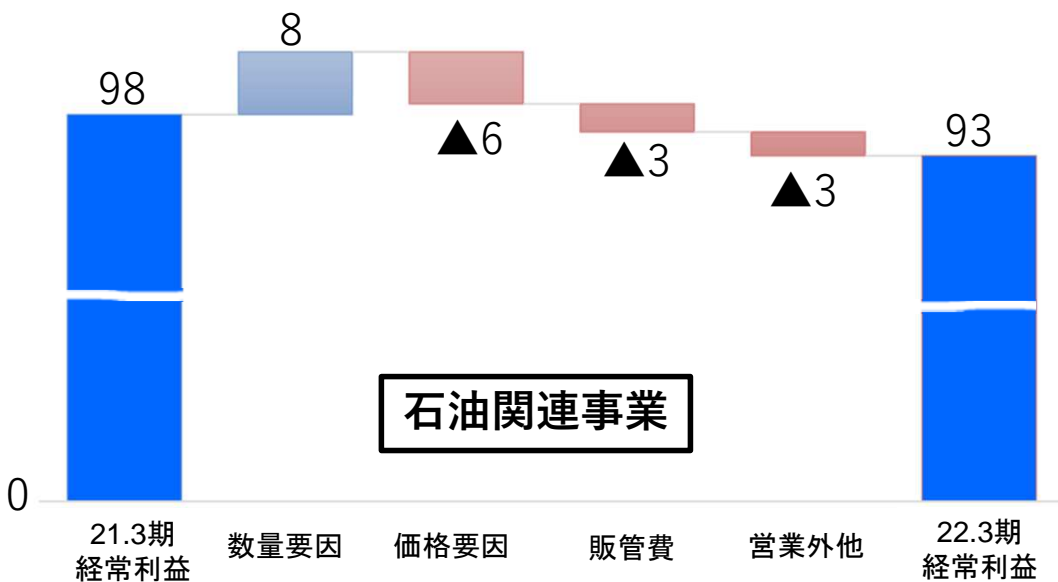
セグメント別売上高・経常利益 前年対比



セグメント別利益 前年比増減分析



(億円)

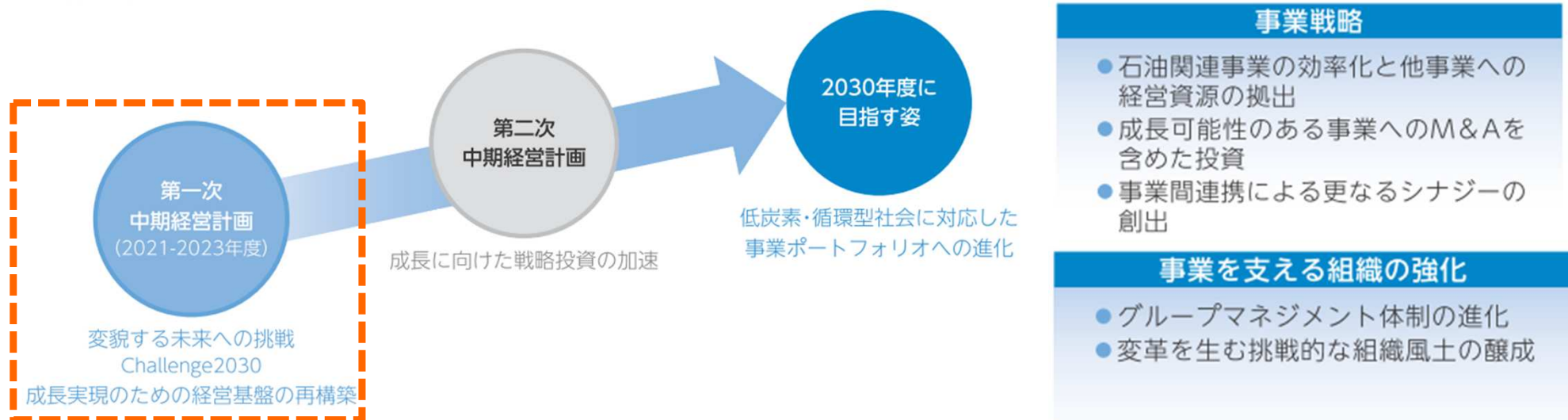


3. 中期経営計画進捗状況

中期経営計画（2021-2023年度）の概要

2030年度の目指す姿「低炭素・循環型社会に対応した事業ポートフォリオへの進化」
に向け、本中期経営計画を『成長実現のための経営基盤の再構築』と位置付け

中期経営計画（2021-2023年度） ～変貌する未来への挑戦 Challenge 2030～



各事業概況 ～石油関連事業～



- 市況回復でSS₍₁₎小売事業が堅調に推移
- 2021年4月 SS運営を行う国際油化(株)とキグナス石油販売(株)を合併
⇒2022年4月 三愛リテールサービス(株)に商号を変更

主な事業戦略	進捗状況
SSの収益性向上、SS数の維持・拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・販売数量伸長・油外収益拡大 ・競争力のあるSSを新規獲得（SS数シェアを維持）
デジタル技術活用による業務効率化	<ul style="list-style-type: none"> ・給油承認業務効率化のため、可搬式給油許可装置を導入 ・スマートフォンアプリ「Mantan」のサービス拡充

【石油セグメント利益⁽²⁾】

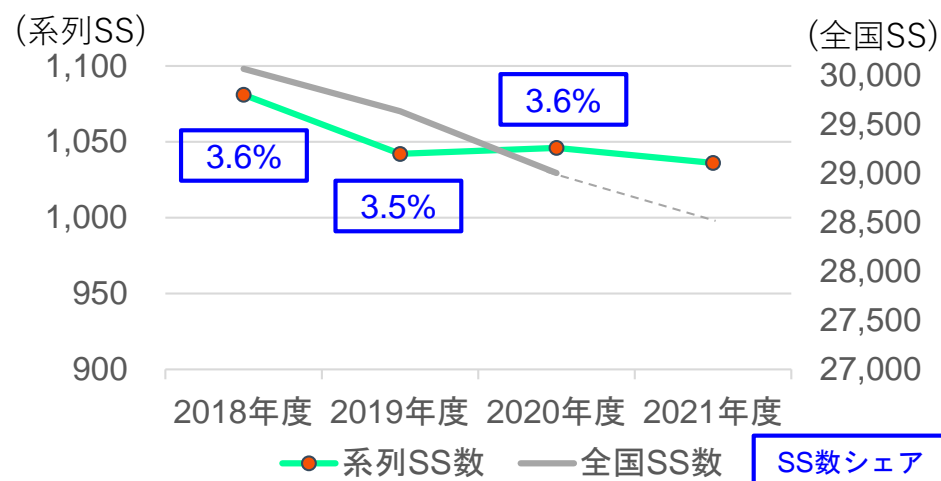
2020年3月期：71億円
2021年3月期：98億円
2022年3月期：93億円

(注)2020年3月期利益には化学品事業が含まれている

【SS獲得数】

新規直営SS： 3件
新規特約店： 14件

【系列SS数推移】



1: サービスステーション

2: 連結損益計算書の経常利益と調整を行っている

出所: 資源エネルギー庁「令和2年度末揮発油販売業者数及び給油所数を取りまとめ」

各事業概況 ～化学品事業～

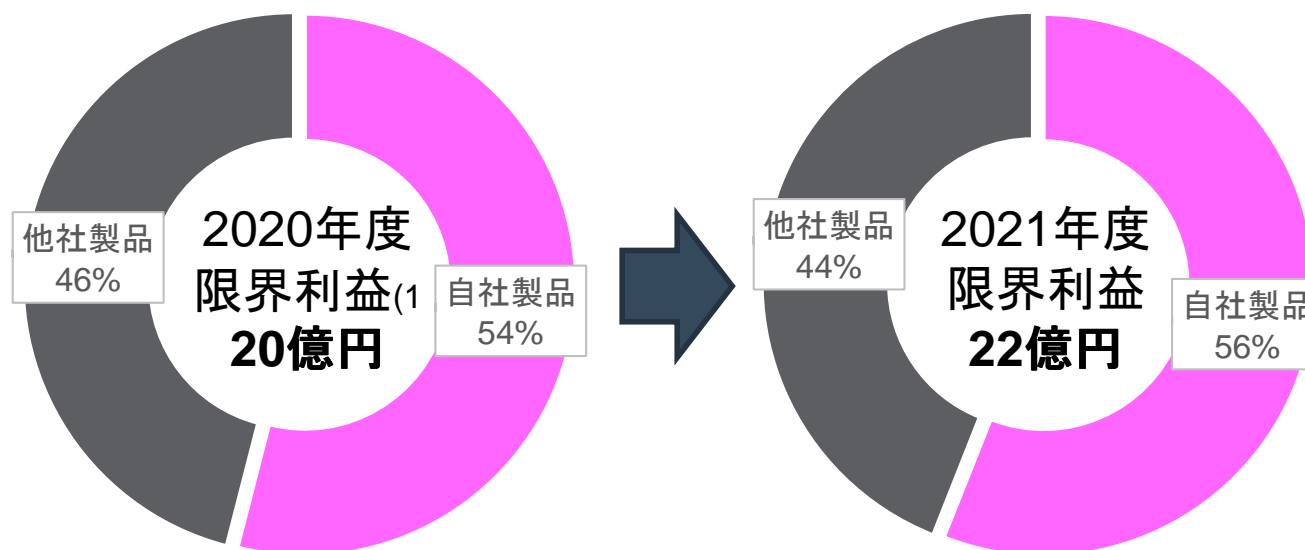
○国内製造業の工場稼働状況が回復に向かったことなどにより、防腐・防カビ剤、石油系溶剤を中心に販売数量増

主な事業戦略	進捗状況
研究開発体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> 機能化学品（光触媒コーティング剤他）や防腐・防カビ剤の次期製品を研究開発中 外部企業・大学との共同研究準備
商品拡充に向けたM&A・提携推進	<ul style="list-style-type: none"> パートナー候補企業の検討

【化学品セグメント利益⁽²⁾】

2021年3月期： 8億円

2022年3月期：12億円



※2022年3月期第1四半期連結会計期間より「石油関連事業」に含めていた「化学品関連事業」を区分している
2021年3月期の上記セグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものである

1: 売上高から変動費を除いた利益
2: 連結損益計算書の経常利益と調整を行っている

各事業概況 ～ガス事業～

- LPガス：小売部門では需要の回復が見られたものの、販売数量は前年並みで推移
- 天然ガス：佐賀ガス(株)等での販売数量増により堅調に推移

主な事業戦略	進捗状況
<LPガス> ・小売軒数の拡大 ・デジタル技術活用による業務効率化	・コロナ禍による対面での顧客接点減少⇒小売軒数微増 ・自動検針/集中監視端末を順次設置
<天然ガス> ・佐賀天然ガスパイプラインエリア内顧客数拡大 ・OES ⁽¹⁾ 検討・提案、新規営業強化	・新規需要家への供給開始 ・順次新規営業及び各種提案を実施 (客先現地調査及び省エネ診断等を実施)

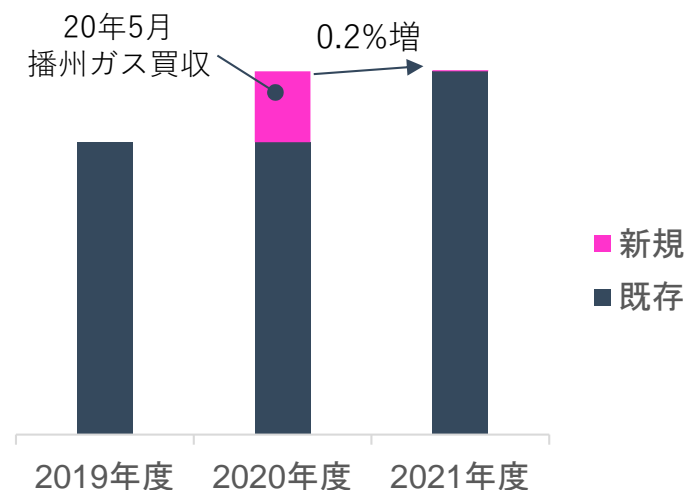
【ガスセグメント利益⁽²⁾】

2020年3月期：25億円
 2021年3月期：27億円
 2022年3月期：26億円

【提案件数】

- ・OES提案：約5件
- ・その他燃転等提案：約15件
- ・佐賀天然ガスパイプライン沿線：約5件

【LPガス小売軒数】



各事業概況 ～航空関連事業～

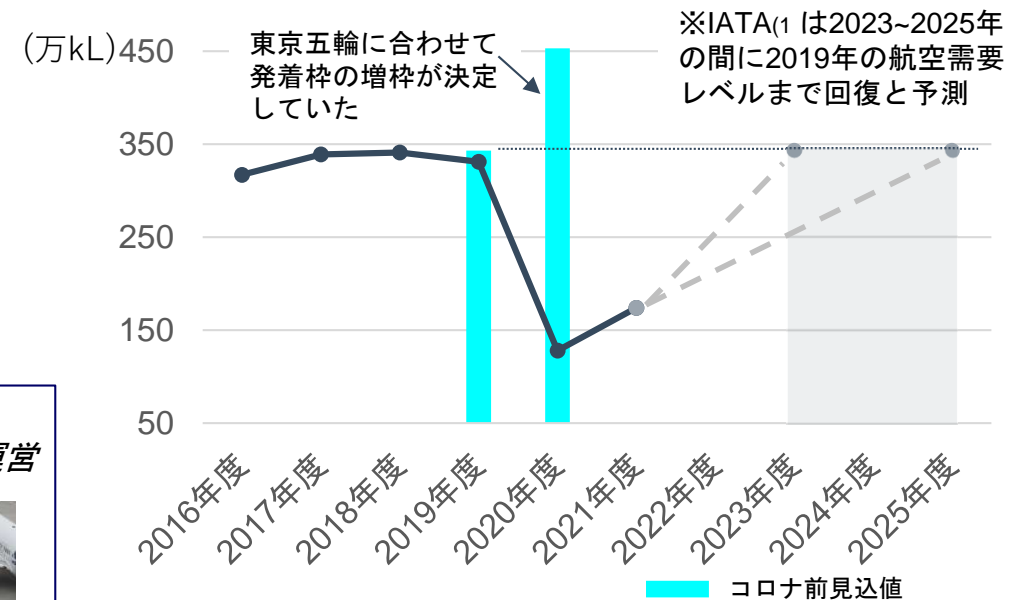
○コロナ禍による国際線の復便に遅れが見られたものの、国内線は回復傾向
 ⇒東京国際空港(羽田空港)では、航空燃料取扱数量約**36%増**(2020年度比)

主な事業戦略	進捗状況
既存航空機給油施設への投資拡大	<ul style="list-style-type: none"> 国の空港整備計画に基づいて各種調査・検討・準備を実施 給油及び機器点検システムの導入・推進
地方空港航空機給油施設の獲得	<ul style="list-style-type: none"> 2021年6月国内7空港の航空機給油施設を取得 ⇒全国97空港のうち26空港を当社グループがカバー

【航空他セグメント利益⁽²⁾】

2020年3月期： 24億円
 2021年3月期：▲26億円
 2022年3月期： 11億円

【羽田空港航空燃料取扱数量】



★ 三愛オブリグループ オペレーション空港

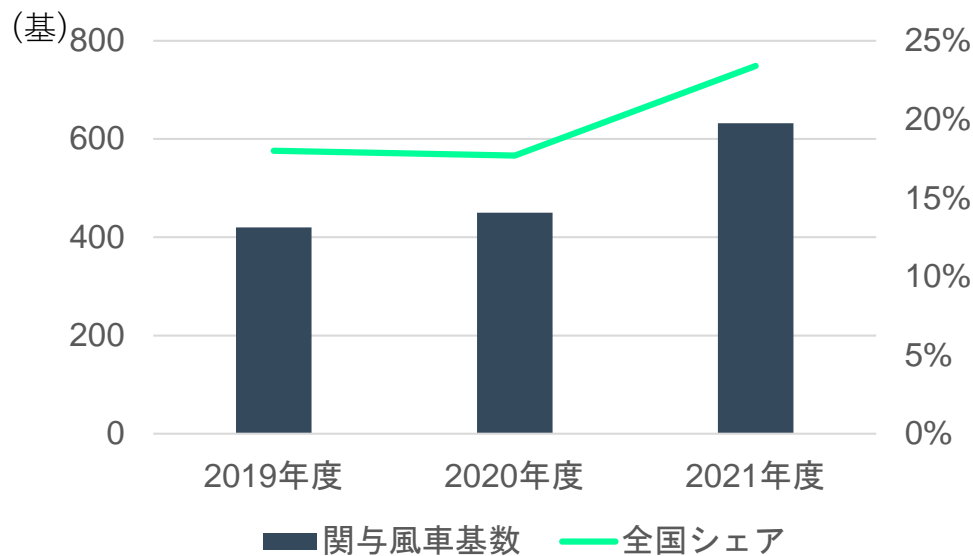
26空港

国内最大の発着数を有する
羽田空港の航空機給油施設を運営

各事業概況 ～その他事業～

- 風力発電（風車ギアボックス）向け内視鏡調査等の需要拡大により当社関与件数増
- バイオガスエンジンオイルメーカーWIPA Chemicals International社（ベルギー）と代理店契約を新規締結⇒輸入販売を開始
- 三愛オブリテック(株)2021年度施工実績：水素ステーション関連3件
バイオガスプラント関連1件

【当社関与風車基数】



成長事業への戦略的投資

○成長・安定基盤領域を中心に成長投資を実施

⇒コロナ禍により中計1年目は進捗率約7%となった

(単位：億円)

	2021年度 (実績)	中計投資額 (~2030年度)	中計進捗率
成長事業 (ガス・化学・その他)	28	300	9.4%
安定基盤事業 (航空)	17	400	4.3%
効率化事業 (石油)	20	250	7.8%
全社共通	8	50	15.8%
合計	73	1,000	7.3%

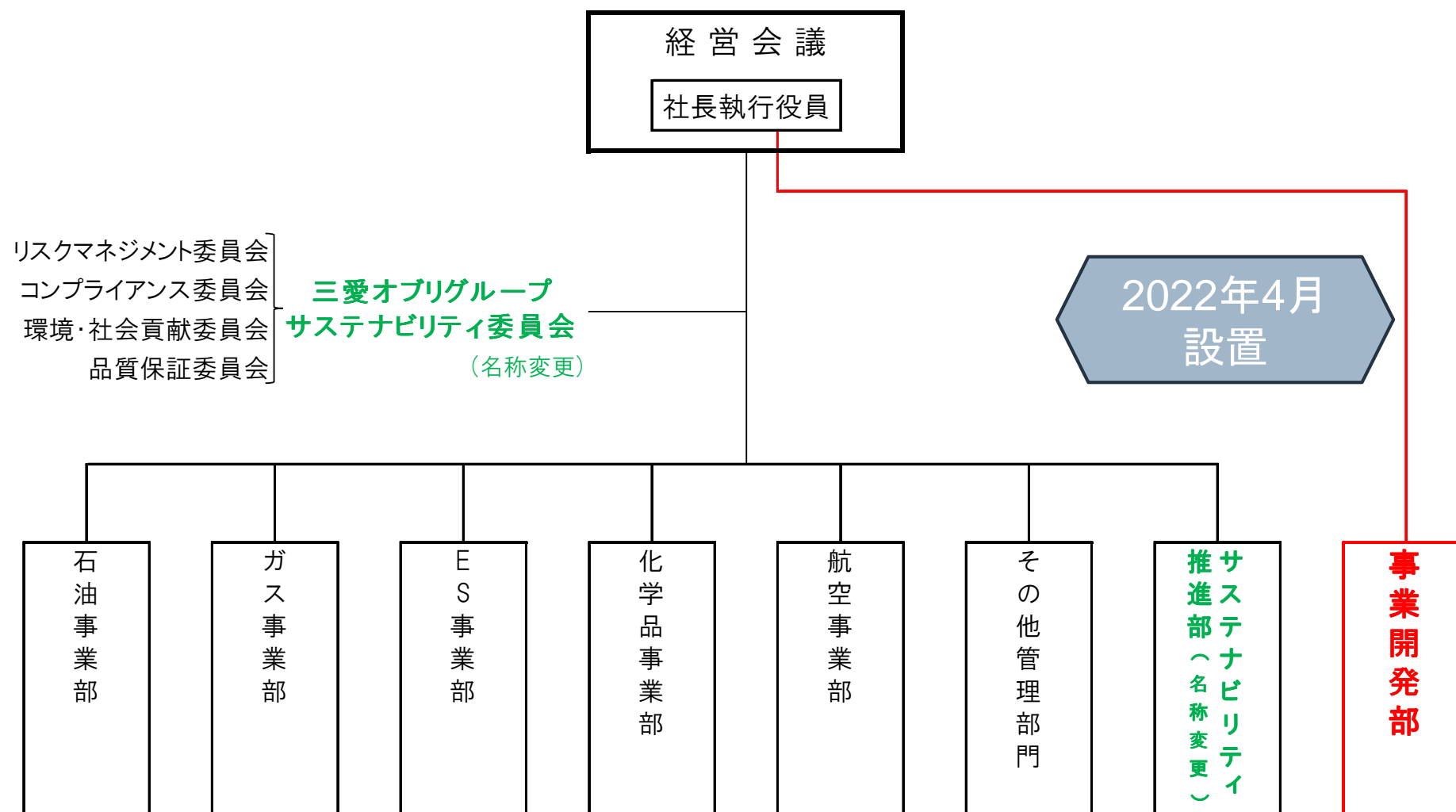
2021年度
主な投資内容

- ・ LPガス設備、天然ガスパイプライン延伸
- ・ 羽田空港航空機給油施設改修、施設増設基本設計・調査
- ・ SS/油槽所等設備
- ・ グループERP⁽¹⁾ 他

1: 基幹系情報システム (Enterprise Resources Planning)

変革を生む挑戦的な組織の構築

○新規事業・グループシナジーの加速に向け、
社長直轄の「事業開発部」を設置



- グループERP刷新（全社共通）
2023年4月の稼働に向け開発・移行準備中
- 施設管理システムの導入（航空事業部）
 - ・点検記録、作業手順書、機器情報等のデータをクラウド管理し、モバイルアプリケーションにより現場にて各種情報を閲覧可能
 - ・点検記録等を現場で作成・保存⇒ペーパーレス化、業務効率向上
- 給油業務管理システムの開発（航空事業部）
フライト情報・給油車両のGPS情報・給油オーダー情報等と、AIを駆使した自動配車システムとを連携させた次期給油業務管理システムを開発中
⇒2024年10月稼働予定

<2021年度トピックス>

- 羽田空港内事務所に太陽光発電設備及びEV用急速充電設備を設置
⇒太陽光発電による電気は、事務所照明・EV充電に使用



電気自動車の導入

- 作業車両（給油作業車・点検作業車）に再生可能燃料であるバイオディーゼルを使用

購入実績：5,200L



<2021年度トピックス>

○当社グループではSAF¹の保管及び航空機への給油サービスを提供



今後も航空業界のカーボンニュートラルに貢献してまいります

1: 持続可能な航空燃料 (Sustainable aviation fuel)

4. 2023年3月期 連結業績予想

2023年3月期 連結業績予想



(億円)

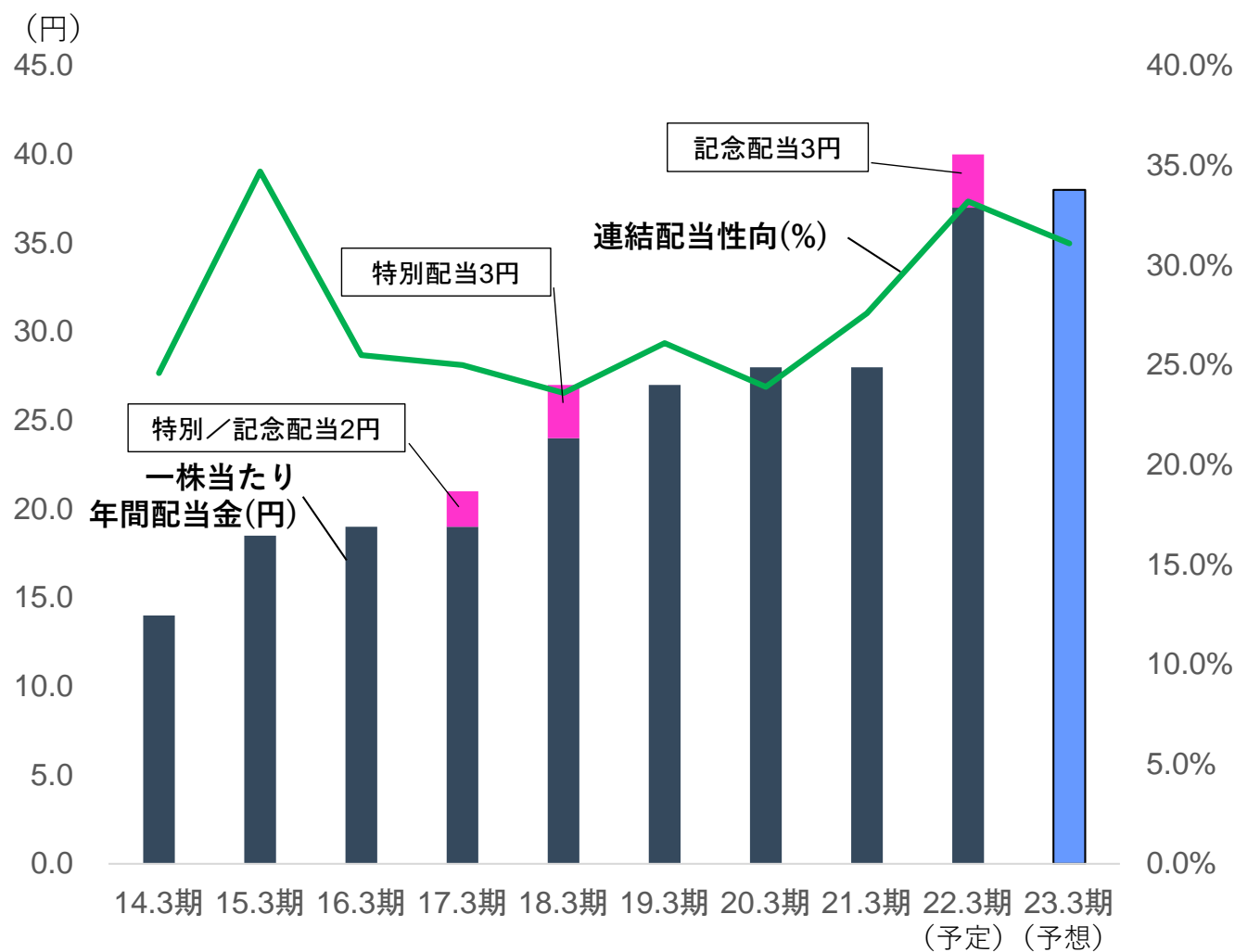
	2022年3月期 実績	2023年3月期 業績予想	増加率 (%)
売上高	5,987	6,000	0.2%
営業利益	120	130	7.7%
経常利益	131	135	2.9%
親会社株主に帰属 する当期純利益	83	84	1.1%

中期経営計画財務目標の修正について

2021年度（2022年3月期）の連結業績は、中期経営計画における2023年度目標を上回る実績となりました
この状況を踏まえ、中期経営計画の財務目標を上方修正いたします

	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 予想	2023年度（第一次中計最終年度）	
				当初	修正後
連結経常利益	100億円	131億円	135億円	130億円以上	140億円以上
連結ROE	7.2%	8.0%	7.7%	8.0%以上	8.0%以上
連結配当性向 (年間配当金)	27.6% (28円)	33.2% (40円)*	31.1% (38円)	30.0%以上	30.0%以上

(注)2021年度連結配当性向には、期末配当26円（普通配当23円、記念配当3円）（予定）が含まれております



連結配当性向：30.0%以上

連結配当性向30%以上を
配当方針とし、株主還元
を安定的に実施



**2022年3月期配当は、
年間40円（普通配当37円
+記念配当3円）**を実施予定
(注)中間配当14円実施済



(本資料についての留意事項)

- ・本資料に記載されているデータや将来予測は、本資料の公表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。
- ・実際の業績はさまざまな要因によって、異なる結果となることがあるため、将来の業績を保証するものではありません。
- ・本資料利用によって生じたいかなる損害については、当社は一切責任を負いません。

お問い合わせ先：三愛オブリ株式会社
TEL：03-6880-3100(代表)